

2024（令和6）年度

第6回人権教育セミナー

「なぜ部落問題はタブー視されるのか」

～ 自分の言葉で部落問題を語り合うために ～

日時:10月24日(木)午後6時30分～8時

場所:中央公民館 視聴覚ホール



講師: いしもと きよひで
石元 清英さん (関西大学 名誉教授)



<プロフィール>

1953年 大阪市に生まれる
1985年 京都大学大学院農学研究科博士課程農林経済学専攻満期退学
1989年 関西大学社会学部専任講師
1992年 同助教授
1999年 同教授
2019年より 関西大学名誉教授

大学院時代より、被差別部落の実態調査に取り組み、兵庫県、大阪府、京都府、広島県などで、被差別部落の現状研究を行ってきた。2002年の同和対策事業終了後は、各地の自治体からの依頼を受け、市民意識調査を行っている。現在、全国大学同和教育研究協議会会長、(公益財団法人)世界人権問題研究センター登録研究員。著書に、『農村部落』関西大学出版部、『はじめてみよう! これからの部落問題学習』解放出版社など。



去年は、「あらためて学び直す部落問題」－部落に対する誤解や偏見を批判していくために－というテーマで、「部落とは何か、部落出身者とは誰なのか」「なぜ、部落に対してマイナスイメージを持つてしまうのか」というお話をしてきました。今回は「なぜ部落問題は忌避されるのか」というテーマで、マスメディアが部落問題を取り上げないことを具体例をあげて紹介し、自分の言葉で部落問題が語り合えるためには、何が必要かを考えたいと思います。

「部落差別解消推進条例」が施行された猪名川町。いっしょに部落問題について理解を深めていきましょう。

問い合わせ:六瀬総合センター ☎768-0217